

そよかぜ 12月園便り

令和3年12月1日(水)

西東京市立そよかぜ保育園

朝晩の冷え込みと共に、やっと冬の到来を肌で感じるようになりました。
クローゼットのダウンジャケットもいよいよ出番がありそうです。

でもそんなことを言っているのは大人だけ。
子どもたちは園生活の中ですっかり薄着にも慣れ、汗をかくほど元気に動き回っています。そうは言っても...「寒くなったし、鼻水も出ているし」とモコモコと厚着をした暖かそうな装いで登園するお友だちが増えてきました。

寒いからと言って着せすぎには要注意！
厚着をすると、子どもの動きを制限してしまうことに繋がります。
薄着にして十分体を動かすことで、筋肉が伸縮して熱を発生させて温まっていきます。
その結果、筋肉や骨の成長を促し、体力もついていきますね。

また、体をウイルスなどから守る免疫機能は体温と深い関係があり、体温が下がった状態では免疫機能が十分に働かず、様々な感染症にかかりやすくなることもあります。

薄着で元気いっぱいに体を動かして遊び、体温を上げて免疫機能を高めていくことで子どもたちの**健康な体作り**に繋がっていきましょう！

もう一つ。今の季節、気になる子どもたちの様子として、肌がカサカサで荒れている子が多いこと。
くちびるもカサカサになっていますよね。

肌が乾いていると過敏になり、思い切り遊ぶことができなくなることもあります。
保湿することも大切ですが（保湿の仕方は11月の“ほけんだより”をご覧ください）子どもたちの**体の水分**は足りているのでしょうか。水分と言ってもどんなものを飲んでますか？

今、水分補給についてのアンケートにご協力いただいておりますが、結果を考察して皆さんにもお返ししていきたいと思っています。

健康な体作りにはいろいろな要素が含まれていますね。
日々の生活の中で、できることはしっかり保障していきたいという思いを新たにしました次第です。
寒い冬も元気に過ごしていきましょう！

12月 園行事

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1日(水) 4.5才 荒馬座公演 | 18日(土) 5才、一年生 味噌パーティー |
| 6日(月) 5才 藤井先生ピアノ鑑賞 | 21日(火) 誕生会 |
| 7日(火) 3.4.5才 大根掘り | 22日(水) 餅つき会・避難訓練 |
| 8日(水) 5才 紙漉き遠足 | 24日(金) クリスマス会 |
| 9日(木) 布団乾燥 | |

※ 先日お伝えした通り、11日(土)に予定しておりました『餅つき会』は中止とさせて頂き、
22日(水)に通常保育の中で行います。

クラス通信

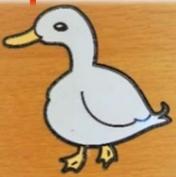


ひよこ

秋が深まり、いこいの森公園には落ち葉がいっぱい。落ち葉を両手にたくさん抱えてばあ〜と空に降らすとヒラヒラと舞い落ちてきます。子どもたちも真似して落ち葉を降らして遊んでいます。落ち葉の下に埋もれているどんぐりを見つけると、嬉しそうに拾って大人に見せに来てくれますよ。秋の公園は子どもたちにとって宝物がいっぱいです。

たくさん遊んでお昼ごはんを食べ、沐浴。血行が良くなり体が温まって、寝つきが良くなり、よく眠れる効果があります。

だんだんと寒くなっていきますが、今月も天気の良い日はお散歩に出かけたり、室内でリズム遊びをしたりと、元気いっぱい遊んでいます。



あひる

散歩に出かけると、落ち葉を拾って穴を開け“はっばおばけ”に大変身。「はっばおばけだぞ〜！」と怖い声を出しながら、大人やお友達とまてまて遊びを楽しんでいる子どもたち。先日の“いこいの森”では、両手に葉っぱをたくさん持って、それを舞わせたり、“はっばベッド”“はっばの湯”に入って遊んだり、秋ならではの遊びを楽しみました。もちろん、“はっばおばけ”にも変身していましたよ。

立冬を過ぎ、季節はもう冬です。子どもたちから、少しずつクリスマスの話が聞こえてくるようになりました。気温も段々と低くなっていきますが、まてまて遊びやくすぐり遊びなど、たくさん触れあい、身体を暖めながら、過ごしていきます。また、体調に気をつけながら、寒さに負けず、戸外でも活動していきます。



すずめ

本格的な寒さがやって来ましたが、日中はまだまだ暖かいので汗をかくくらい沢山身体を動かして遊んでいます。すずめ組のブームはおままごとやごっこ遊び。子どもたちが作ってくれるごはんの種類もカレー、ラーメン、オムライスなど様々ですが、中には予想をしないものが入っていたりと、とても面白いです！また、大人のやりとりを真似しているような会話をして役になりきったり、「どうぞ」とお友だちとコミュニケーションを取り楽しんでいます。遊びの中でたくさんの成長を感じられます。

今月も寒さに負けず沢山身体を動かし散歩に行き、元気に遊びたいと思います！



ひばり

お昼寝から起きて自分で布団を畳んで片づけるのですが、寒さを感じるのか目を覚ましていても眠ったふりをして布団に潜り込む子ども達。「おやつ食べたら園庭で遊ぶよ」と声を掛けると“むくっ、むくっ”とモグラのように起きだして片づけおやつを食べ園庭へ。タッチ鬼から始まり、少し高度な“増え鬼”を楽しむようになってきました。

部屋に入るとお茶を飲みながら息着く暇もなく「今度はだるまさんが転んだをしようよ」と一人がいうと「やろう」「やろう！！」「はじめのい〜っぽ」と始まります。「だるまさんがころんだ！」と、止まった自分の姿が暗くなった窓ガラスに映り、笑い声が響いていますよ。

今月も子ども達の発想を大事にし、寒さに負けないように遊んでいきましょう。



一段と寒くなってきて、温かいコートが手放せない季節がやってきました。そんな寒さを吹き飛ばすぐらい、まだまだ半袖で元気いっぱいにつばめ組です。

公園では、氷鬼や増やし鬼はもちろんのこと、先月よりも更に夢中になっているドロケイでは、

ケイサツチーム：「みんな捕まえるぞー！」「えい！えい！おー」

ドロボウチーム：「みんな逃げ切って助け合うぞー！」「えい！えい！おー」

と、公園に子ども達の声が響き渡り、仲間同士で声を掛け合い、協力し合い楽しんでいます。

12月も、戸外や室内で思い切り身体を動かしながら、体調管理にも気を付けていきたいと思えます。



先月の終わりから急に寒くなりましたが、元気に散歩に出掛けています。散歩先での遊びといえばみんなが大好き“鬼ごっこ”ですが、公園の広さによって色々な楽しみ方があります。最近はいちょう公園での“かくれんぼ鬼ごっこ”が楽しいはやぶさ組。いくつか大切なルールを確認して上で、葉っぱや木の後ろ、看板の裏など隠れたい所に静かに身を潜め、鬼がどこから来るのかよく見えています。見つかってタッチされると鬼が増えていくので、このまま同じ場所に隠れていいのか、、、移動して違う所に行くか、、、など考えながら遊んでいますよ。

今月は更に寒くなりますのでマラソンなどをして身体を温めながら遊んでいきます。また行事がたくさんありますので、体調に気を付けて過ごしましょう。

< 秋の遠足 >

2.3.4歳クラスのバス遠足は秋晴れの中、丘を駆け登り、段ボールそり滑り、長いすべり台などで思い切り遊んできましたよ。



2才 すずめ組 小金井公園

3才 ひばり組 東伏見公園

4才 つばめ組 野山北公園



辺りの畑は真っ白 急な冷え込みに 冬の到来を実感した朝でした。

我が家の小さな庭 冬支度をしようと土を耕しました。サラサラしています。かなり深く掘ってもサラサラ。シャベルにあまり土は付いてきません。こんなに乾燥しているのだと驚き、給水することにしました。小さな池を作り、水を入れると、土手は崩れ、土砂崩れ!!! 鉄砲水のように流れていきます。慌てて補修。乾いた土はなかなか水を受け付けてくれないのです。少しずつ何度も補水するうちに徐々にしっとりして、お花を植えることに。その後は土砂崩れすることなくたっぷりお水を上げました。

あちらこちらで起きる土砂崩れ。無謀な乱開発・環境破壊・地球温暖化・・・

晴天続きで、お肌も地面もカサカサ。良い按配で雨の日・晴れの日があってほしいなー。

幼児における遊びの重要性について

*文科省は幼児教育と小学校の架け橋特別委員会（R3年7月）では幼児教育だけではなく、幼児期の遊びを活かせるような小学校教育について検討がなされているようです。

幼児教育は「行き過ぎた早期教育にならないよう、小学校教育の先取りではない。遊びを基本とする従来の幼児教育を踏まえ、質の高い遊びに繋がる工夫が必要」

と 遊びを通し、総合的に学ぶことの大切さを上げています。

幼児期の学びの特性は

五感を通じた体験 「遊び」を通じ総合的に学ぶことが大事であると再確認されています。

体験の幅をひろげ、環境を整え、発達の段階に応じた関りや工夫を編み出し、一人一人の成長に合わせた配慮を・・・と思うこの頃です。

職員のつぶやき

私とたつの子保育園の出会いは10年以上前、大学の『自分で実習先を探す』実習でした。地元周辺の保育園との繋がりがなかった為、HPを見て調べ電話をかけました。大学の先生から『断られることもあるけど、めげずに探すこと』と言われていた通り断られ続け、最後にOKを頂いたのがたつの子保育園でした。

実習が始まるとカルチャーショックの連続。赤ちゃんが大きな野菜を驚掴みしてかじりつき、砂場では大人も子どもも泥んこになって楽しそうに遊び、初めて見たリズムは子どもの動きのしなやかなこと。たつの子保育園で大切にしている『食う・寝る・遊ぶ』そのままの姿がありました。

自分もこんな風に子どもの頃、思い切り遊びたかった!のびのびしていて嬉しい!と、自分が小さい時の記憶や色々な実習で見てきた子ども達には抱かなかった気持ちになり、卒業後はたつの子保育園に就職。結婚、出産し、娘も0歳クラスからたつの子保育園に通い3歳になりました。

我が子の成長を通し改めて『食う・寝る・遊ぶ』の大切さと、母になり『保育園の存在』や『周りの方々の支え』のありがたさを感じている毎日です。母として保育士として感謝の想いを返していきたいです。

羽村たつの子保育園 秋山明子